

令和 2 年第5回久米島町議会定例会一般質問

期日： 令和2年6月16日

令和2年第5回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地 猛	1. アーバンデザインセンターの方向性について	令和2年6月16日(火)
		2. 道路整備計画について	
		3. 字加入を促進して、地域活性化を図る必要があると思うがその取り組みについて	
2	富永 肇	1. 新型コロナウイルスについて	令和2年6月16日(火)
		2. 小、中学校の学校生活について	
3	翁長 学	1. 農水産業における町の支援	令和2年6月16日(火)
4	盛本 實	1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による緊急経済対策及び危機管理体制について	令和2年6月16日(火)
		2. 新興通りの整備状況について	

令和2年第5回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	吉永 浩	1. 今後の新型コロナ対応について	令和2年6月17日(水)
		2. 農業の担い手育成について	
		3. 町民の所得向上に向けた取り組みについて	
		4. 地域包括ケアシステムについて	
2	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場の早期返還について	令和2年6月17日(水)
		2. 銭田川の河川工法について	
		3. ふれあい公園のコンクリ護岸の改修について	
		4. 島尻農村公園トイレの改善について	
		5. 真泊の避難道路延長について	
3	新垣 幸子	1. 保育所運営について	令和2年6月17日(水)
		2. 一般家庭等から収集されるゴミ対策について	
		3. 新型コロナウイルス感染症関連について	
		4. 中学生の通学バス支援について	
4	棚原 哲也	1. 新型コロナ感染症について	令和2年6月17日(水)
		2. 海岸の漂着ゴミの除去対策について	

令和2年第5回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	喜久里 猛	1. コロナ対策について	令和2年6月18日(木)
		2. 遺骨収集について	
		3. 牧草畑の品種について	
2	真栄平 建正	1. 久米島堆肥センターについて	令和2年6月18日(木)
		2. コロナ対策について	
3	東江 浩明	1. 堆肥センター品質向上対策の現状について	令和2年6月18日(木)
		2. サツマイモ基腐病対策について	
		3. 新型コロナウイルス影響による今後の観光関連等々の対策について	
4	赤嶺 秀徳	1. 赤土流出防止について	令和2年6月18日(木)
		2. 県道89号儀間嘉手苅間の改良について	
		3. 廃船について	
		4. 観光資源について	
		5. 民事事件の進捗について	

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1 13	幸地 猛	1. アーバンデザインセンターの方向性について	①アーバンデザインセンターはいつ頃設立する考えか伺います。 ②推進委員会のメンバーについて。 ③町の他の計画との整合性について。 ④国土利用計画との関連について。	町長	①アーバンデザインセンター（UDC）は6月中の設立に向けて調整中です。 ②UDCは公民学での構成を基本としており、現在、民の中核的な役割を担う久米島商工会とメンバーについて調整中です。公については行政、議会、NPO等の組織、学については海洋深層水研究所、琉球大学、久米島高校などを想定しております。 ③まちづくりには様々な取り組みがありますが、町民が日々生活し利用する空間をよりどころに町を良くしていくのがアーバンデザインの考え方です。「第2次久米島町総合計画」では課題の洗い出しと解決に向けて島が一丸となることを提唱しており、UDCは町民が一丸となるためのセンター、中央広場的な役割を担えると考えていますので後期基本計画にUDCをしっかりと位置付けてまいります。 ④久米島町は国土利用計画の理念に基づき、町土利用について7つの基本方針を定めています。本計画はUDCの理念とも共通していることから自然環境の保全を図りつつ、土地利用や景観形成等のありかた等についてUDCの活動の中から町民、事業者、自らが意識を高め行動していく契機になると考えています。	企画財政課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
2	13幸地 猛	2. 道路整備計画について	<p>①町道、農道の町全体の整備計画について</p> <p>②町道比嘉6号線と、町道比嘉19号線は通学路、観光客、買い物客等、交通量の多い道路である。重要路線として位置づけ歩道設置をして、整備する必要があると考えるが、その整備計画について伺います。</p> <p>③比嘉公民館横の道路整備は、仲里公園との関連もあり早期に整備する必要があると考えるが、その整備計画について伺う。</p>	町長	<p>①町道については、採択されている路線が2路線あり令和5年度まで事業工期となっております。新規路線につきましては、整備計画を策定し計画的に取り組んでまいります。農道については、農道単独では難しいことから、面整備を含めた補助事業で農道整備を検討してまいります。</p> <p>②比嘉6号線は町道1級また、比嘉19号線はその他町道として指定されております。特に比嘉6号線は、県道173号線から字イーフへ抜ける道路として近年歩行者を含め交通量が増えている状況にあります。ただ、整備中であり比嘉2号線や謝名堂川沿いの謝名堂2号線が歩道付きの道路として整備されており、今後比嘉6号線も同様の整備ができるかどうか沖縄県に要望してまいります。</p> <p>③仲里公園については、今年度で施設整備が完了予定となっております。公園を利用する際に、その道路も交通量が増加することが予想されますので、今後整備できないかどうか検討してまいります。</p>	建設課
3		3. 字加入を促進して、地域活性化を図る必要があると思うがその取り組みについて	<p>町における字加入の現状と取り組みについて伺います。</p> <p>①行政区ごとの字加入率について。</p> <p>②アパート居住者の加入状況について。</p> <p>③移住定住者の加入状況について。</p> <p>④町の広報等機関誌の配布状況について。</p> <p>⑤これまでの町の加入促進策について。</p> <p>⑥今後の町としての具体策について。</p>	町長	<p>①平成28年度調査の加入率は町全体で70.4%となっております。</p> <p>②③アパート居住者及び移住者の加入状況は把握していませんが、平成28年度実施のアンケートによると、アパート居住者が加入してくれないと回答した自治会が11字あるため、低い状況にあると考えております</p> <p>④各字区長へは世帯数分で委託しており、全世帯配布するよう依頼しています。</p> <p>⑤直近5年間は実施しておりません。</p> <p>⑥加入促進策については、先進地の取り組み等を参考に具体策を検討してまいります。</p>	総務課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	3富永 肇	1. 新型コロナウイルスについて	<p>新型コロナウイルスの感染対策として、本町も町民を初め多くの事業者や営業店舗が自粛や自粛休業を行い、危機的な経済損失である。完全なコロナウイルス終結は見えない状況にあり町の経済支援対策、第1弾が行われるが今後も町の経済支援対策、第2、第3の経済支援が必要である。</p> <p>コロナ対策及び経済支援と経済回復対策について伺う。</p> <p>①今後、町独自の経済支援は。 ②町独自のコロナウイルス感染予防シミュレーション、感染者対応シミュレーションは作成されているか。 ③各団体の要望、要請はあるか。 ④イベントの開催は。久米島まつり、久米島マラソン、その他（島外参加者）。 ⑤コロナ相談ダイヤルに寄せられた問い合わせ等を町ホームページにQ&Aでの記載は可能か。 ⑥水道基本料金の免除は可能か。 ⑦コロナに特化した対策チームの設置は。</p>	町長	<p>①4月に「新型コロナウイルス関連緊急経済対策チーム」を発足して町経済団体と随時、意見交換を行っております。新型コロナの影響は長期化も予想されますので、第3弾以降の町独自の経済支援、回復対策を講じてまいります。</p> <p>②「町独自の感染予防シミュレーション、感染者対応シミュレーション」についてですが、感染予防については、現在は、厚生労働省が発出しています「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」や沖縄県が掲げています「新型コロナウイルス感染症に係る沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」に基づき対応しています。「感染者対応シミュレーション」については、新型コロナウイルス感染症対策本部、感染症対策班において久米島町における患者対応フローを作成しております。</p> <p>③久米島町経済5団体から経済対策等の支援、久米島ダイビング安全対策協力会から休業補償支援、沖縄県花卉園芸農業協同組合久米島支部から堆肥補助等の要望がありました。</p> <p>④久米島まつり、久米島マラソン大会の開催については、国や県等から発出されているガイドライン等を参考に、関係団体と意見交換・協議しながら検討いたしました。</p> <p>その他のイベント等についても、同様の検討が必要と考えております。</p> <p>検討の結果、国や県等から発出されているガイドライン等基準での開催が困難であること、予防薬であるワクチンや治療薬がない現状、感染症の第2波、第3波の懸念も払拭されないことなどから、今年度の久米島まつり、久米島マラソン大会については、5月29日に開催いたしました実行委員会において、中止と決定いたしました。</p> <p>町以外が主催するイベント等については、国・県等が発出するガイドライン等を参考に開催可否の判断、実施となるよう周知・依頼を行いたいと考えております。</p> <p>⑤コロナ相談ダイヤルに寄せられた問い合わせにつきまして、Q&Aとして、町のホームペー</p>	<p>①企画財政課 ②福祉課 ③総務課 ④商工観光課 ⑤企画財政課 ⑥上下水道課 ⑦総務課、福祉課</p>

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4					<p>ジや広報誌等を活用して町民に広く公表してまいります。</p> <p>⑥上水道事業につきましては、料金収入が減少している一方で、維持管理費は増加傾向にあり、今後、施設改修に関わる国庫補助事業の導入に向け、自己財源を確保する必要性もあることから、上水道基本料金の減免の実施については厳しいと思われませんが、料金の支払猶予につきましては、適宜、相談等をおこなっていきたいと考えております。</p> <p>⑦新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、7つの班に分け所掌事務に対応しており、また緊急経済対策チームを設置し対応しております。</p>	
5	3富永 肇	2. 小、中学生の学校生活について	<p>新型コロナウイルスによる長期臨時休校となり、児童、生徒の活動が制限され、これまでの生活環境、学校生活に影響が出ています。指定日登校や分散登校による授業の大幅な減少や心の健康（ストレス）体の健康（運動不足）など大きな不安となっています。</p> <p>久米島町教育委員会として、今後の学習面、精神的なケアについて、どの様な対応、対策を講じていく考えか。またオンライン授業の見解について伺います。</p>	教育長	<p>4月、5月の休校により生じた授業日数の不足を補填するため、県の方針も踏まえつつ、まず夏休みを大幅に短縮し、より多く授業日の確保を行うこととしました。</p> <p>また、今年度の学習内容を年度内で終了することを目指し、小学校は、各学校の同学年担任が参加する学年会、中学校では両校の各教科担任が参加する教科会を適宜開催し、年間指導計画、題材の指導計画を見直ししながら、各教科の指導内容や指導方法をお互いに確認した上で授業を実施する予定です。</p> <p>さらに、運動会や学習発表会等の学校行事の内容を見直し、取組の期間や時間の縮減等を行い、教科の学習時間の確保を目指します。</p> <p>心のケアについては児童生徒がより安心して過ごせるよう学級担任を中心として心身の状態の把握に努め、必要に応じて養護教諭やスクールカウンセラー、小中アシスト相談員等の相談窓口を周知し、相談できる環境を整えます。</p> <p>次に、「オンライン授業の見解」についてお答えします。</p> <p>今回のように休校が長期化した場合、子どもたちの学習面のサポートとして、オンライン授業の環境があればより細かな学習への対応が可能になると考えます。オンライン授業の環境があれば、授業や家庭学習において、より細かな</p>	教育課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
5					<p>対応が可能になり、また効果的に活用できると考えますが、実施するには機器調達や通信環境の整備、授業実施体制の確立など時間を要することが想定されます。</p> <p>しかしながら、本町においては国のG I G Aスクール構想に基づき、小中学校の児童生徒に一人一台端末配備を目指し、オンライン授業も可能な環境の整備に向けて、早期に実現できるよう推進してまいります。</p>	
6	12翁長 学	1. 農水産業における町の支援	<p>①畜産において、牛の血統相違問題とコロナ発生で、セリ価格が低迷している。</p> <p>②花卉園芸も価格低下。</p> <p>③水産においても同じ影響がでている。</p> <p>この3点について町はどう支援するか伺う。</p>	町長	<p>①セリ価格の低迷は、血統矛盾の影響ではなく新型コロナウイルスの影響と農林水産省畜産課から報告を受けております。畜産における支援策につきましては、国の第一次産業支援につきまして新たな給付が検討されておりますので、国の支援策を踏まえ検討しております。</p> <p>②5月21日に沖縄県花卉園芸農業協同組合久米島支部より、堆肥の補助及び高収益作物時期作支援交付金の取り組みの要請がございました。畜産同様に、国の支援策を踏まえて検討しております。</p> <p>③久米島漁協より、水産全体が影響を受けていると報告がありましたので、国の持続化給付金と久米島町地域産業応援給付金を申請するように調整しております。</p> <p>また、畜産及び花卉につきましても持続化給付金及び久米島町地域産業応援給付金を申請するように調整しております。</p>	産業振興課

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	2盛本 實	1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による緊急経済対策及び危機管理体制について	<p>世界的に猛威をふるっている新型コロナウイルスの影響が、他地域に変わらず本町においても色々な面で、町民生活に大きな影響が出ていると思われまが、次の件について町長の見解を伺う。</p> <p>①今回の自肅要請によって町民の経済的損失や心理的苦痛は計り知れないものがあると思われまが、実態調査はしたのか。</p> <p>②経済対策については、感染症拡大に伴い大きく影響を受ける事業者に対して、事業継続を支援するために、国、県においては持続化給付金を始め各種の支援策が講じられている。また、町においても地域産業給付金事業などによる対策は実施しているが、それはあくまでも一時的な支援策であり、長期的自肅によってダメージを受けた事業者においては自力回復がかなり厳しい状況にあることから、町からの継続的な支援が必要と思われるがその対策について。</p> <p>③今回の自肅要請や「緊急事態宣言」解除後においても国から求められてくる「新しい生活様式」において心理的苦痛を感じている人がいるのあればそのケア対策について。</p> <p>④先般の臨時議会の補正予算での説明において、コロナに影響がある農業、漁業関係者又はその他産業従事者等々についても支援体制を取っていくとの事でしたが、どの様な支援策を考えているか。</p> <p>⑤町長はじめ執行部の皆様、そして町民それぞれの協力・努力により、幸いにも本町においては未だ感染者が出ていません。しかしながら今後起こりえるであろうという緊急事態を想定し、危機管理体制を整えておく必要があると思われるが、町独自の危機管理マニュアルはあるのか。</p>	町長	<p>①新型コロナウイルスの影響を受け、本町の経済的損失は計り知れない状況にあります。現状を把握するため経済団体との意見交換を随時行っております。また、各種団体の要請からも、ひっ迫した状況にあることは十分に認識しておりますので効果的な経済対策を講じていけるように早期に取り組んでまいります。また、町民個別に対しては新型コロナ相談ダイヤルを設置して、困りごとなど誰でも相談を受けられる体制を整えて情報を収集しております。</p> <p>②新型コロナの影響は長期化も想定しており、町の経済対策は一時的なものではなく、第2弾の実施を行うとともに、第3弾以降も状況を的確に把握して事業者に対して継続的な支援を講じてまいります。</p> <p>③「新しい生活様式」はこれからの指針であり、強要されるものではなく、高齢者や基礎疾患を有するハイリスク者や、自ら感染対策を行いたい場合において推奨されるもので、住民に強要しないよう、また、住民同士でも監視しあう事のないよう、お互いの思いやりが大切になってくると考えております。</p> <p>④国の第一次産業支援につきましても新たな給付が検討されておりますので、国の支援策を踏まえて検討しております。また、農業・漁業においても、国の持続化給付金と久米島町地域産業応援給付金を申請するよう調整しております。</p> <p>⑤新型コロナウイルス感染症につきましては、指定感染症として第2類感染症に位置付けられており、沖縄県知事の措置に従うこととなっております。ご質問にあります、町独自の危機管理マニュアルの中において、感染症に特化した対策としては平成26年に策定しています「久米島町新型インフルエンザ等対策行動計画」がございます。実施体制に始まり、情報提供・共有、予防・まん延防止、予防接種、町民生活の確保まで各局面毎の行動が基本方針として定められております。</p> <p>町独自の行動の一つに、新型コロナウイルス</p>	<p>①企画財政課</p> <p>②商工観光課</p> <p>③福祉課</p> <p>④産業振興課</p> <p>⑤総務課、福祉課</p>

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7					感染症対策本部、感染症対策班において、PCR検査を受けた疑似症患者（主に軽症者で医師が自宅待機を指示した患者に限る。）を自宅まで搬送するというを行います。疑似症患者の搬送は、沖縄県の措置の範疇ではなく、町独自の行動となっております。	
8	2盛本 實	2. 新興通りの整備状況について	遅々として整備が進まない現状を町長はどの様に感じているか。次の事項について確認します。 ①現在の進捗状況について。 ②今後の整備計画及び見通しについて。 ③電線類地中化の見通しについて。 ④地元（新興通り会）への事業説明会・意見交換の実施について。	町長	南部土木事務からの回答をもとに報告いたします。 ①新興北通りは、歩道設置、新興通りはコミュニティ道路（一方通行）及び新生橋掛替え整備を実施します。整備順序としては、新興通りが一方通行となることから、新興北通りの整備を先行し、新生橋と新興通りの整備に着手する計画です。新興北通りについては新生橋架け替えのための影響区間及び米島酒造区間を除きほぼ整備済みとなっており、令和2年度は交番前について整備予定となっております。 ②新興通りについては本町より電線地中化を要望し、平成30年度に沖縄ブロック無電柱化推進協議会において電線共同溝を整備する路線として合意されました。令和元年度から実施設計を行っており、電線共同溝事業より先に新興通りの整備を行った場合、手戻りが生じることから、電線共同溝と同時に整備を進める必要があります。 ③実施設計を発注したところですが、総延長600mに対し合意された延長が300mとなっており、このままでは片側のみの無電柱化の整備となるため、合意延長の変更を行う必要があります。現在その手続き中となっております。 ④新生橋の更新にあたり、設計を行ったところ規制橋梁より約1m橋面が高くなることから、取り付け部分において私有地と約90cm高低差が生じることとなり、沿線地権者の理解が得られておらず、工事に着手できない状況となっております。河川管理者である本町と河川協議を行い、橋面高さを抑えることができないか調整したいとのことでもあります。橋面高さを抑えることができない場合、事業説明会・意見交換会とまた、電線共同溝事業に係る事業説明会も開催	建設課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
8					<p>する予定となっています。</p> <p>本町としましても県と協力して円滑な事業進捗に協力していきたいと考えています。</p>	
9	6吉永 浩	1. 今後の新型コロナ対応について	<p>①来島自粛や休業要請解除後、落ち込んだ島内の消費や観光産業の回復に向けた取り組み、出口戦略をどのように行っていく考えか、町長の考えを伺う。</p> <p>②第2波、3波の想定と備えをどのように考えるか。</p> <p>③新型コロナ対策による町づくりへの影響はどの程度あると考えるか。また、その影響に対してどのような対策を講じていく考えか、町長の考えを伺う。</p>	町長	<p>①コロナウイルス感染症による経済への影響は計り知れないダメージがあり、経済回復に向け長期的な対策が必要だと考えております。</p> <p>町緊急経済対策チームを中心に経済対策事業を実施し、回復に向け継続した事業実施に取り組んでいるところです。</p> <p>地域経済回復に向けた出口戦略については多様と考えており、段階に応じ、事業者支援、地域内消費喚起、観光誘客強化等を状況をしっかり見極めながら、観光協会、商工会とも連携をより密にし、対策事業を講じていきたいと考えております。</p> <p>②第2波の流行時期にもよりますが、現状としては、まだワクチンや治療法が確立されていないことから、1人でも島内で陽性患者が発生すると島内医療機関の機能がマヒすることが予想されるため、今後の感染拡大予防の取り組みの一環として、町では一人につき50枚のマスクを配布する「マスク配布事業」を行っています。各家庭においても、第2波、第3波に備えてマスク、アルコール等の感染予防物品の確保が必要であると考えています。</p> <p>③新型コロナウィルス対策として、島内外の往来自粛や三密回避を要請しているところですが、消費活動など経済循環が妨げられたことにより、各種産業振興など町づくり推進への影響は計り知れないものがあります。現段階では第2波、3波も想定され、終息は見込めない状況にあります。現状、町から感染者を一人も出さないこと、コロナによる事業継続困難者及び生活困窮者に対して国、県の制度を活用しつつ、町独自の支援を含めて迅速且つ着実に実施することが経済回復を早め、町づくり推進にもつながると考えております。</p>	<p>①商工観光課</p> <p>②福祉課</p> <p>③企画財政課</p>

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	6吉永 浩	2. 農業の担い手育成について	3月定例議会でも取り上げたが、県が進める担い手育成新規事業（新規就農トレーニング体制強化事業）を積極的に活用し、島で若い担い手を育成する仕組みを行う考えがあるか町長の考えを伺う。	町長	<p>沖縄県新規就農一貫支援事業が一部改正され、今年度から市町村も事業主体に追加された事業となります。事業の目的は、就農希望者の就農促進による農業従事者の若年化及び就業人口の向上を図るために、次世代を担う農業者になることを強く思考する人材を育てることを目的としております。</p> <p>事業主体となるには、沖縄県より認定を受ける必要があります。また、研修場所としては、指導農業士の営農圃場が予定されておりますので、研修生を指導できる指導農業士の確保が必要になります。</p>	産業振興課
11		3. 町民の所得向上に向けた取り組みについて	町民所得をどのように認識しているか。所得と生活水準はある程度比例すると考えるが、町民の生活は豊かになっていると考えるか。また、今後8500名の人口を目指す久米島町の町民所得の向上に向けた取り組みをどのように考えるか、町長の考えを伺う。	町長	<p>久米島町における平成28年度1人当たり市町村民所得が、226万3千円となっており、ほぼ沖縄県民の平均値となっております。平成28年度において対前年度増加率では県平均で5.6%増であるのに対して、久米島町は11.6%増となっております。町内総生産額も平成23年度まで減少を続け200億円まで低下していましたが、それ以降は増加を続け平成28年度には238億4千万円となっております。内訳では1次産業の伸びが顕著で、中でも農業分野での伸び率が非常に大きくなっております。町民生活については、統計上ではありませんが少しずつ豊かになってきていると考えております。</p>	企画財政課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
12	6吉永 浩	4. 地域包括ケアシステムについて	誰もが安心して島で住み続ける。これは誰もが望むことです。それを支える地域包括ケアシステム構築の現状と、今年度の主な取り組みについて町長の考えを伺う。	町長	<p>地域包括ケアシステムについては、「住まい」・「医療」・「介護」・「介護予防」・「生活支援」が一体となって提供される地域づくりとなっております。</p> <p>町では、在宅医療・介護連携推進事業をはじめ、認知症初期集中支援事業など、公立久米島病院と常に連携を図りながら、切れ目ないサービスの提供に向けて取り組んでまいります。さらに、社会福祉協議会や民間企業と連携しながら、生活支援や介護予防事業に取り組んでおります。</p> <p>今年度は、高齢者保健福祉計画の策定年度となっておりますので、地域包括ケアシステムのさらなる推進に向けて、計画的に進めていきたいと考えております。</p>	福祉課
13	5宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場の早期返還について	<p>今や安倍首相及びその側近大臣や官僚等の無謬性＝黒を白と言い切ること、隠ぺい、偽造等を平気でやっている。そして自民党、公明党の連立国会議員多数情勢は、戦後、戦中の大政翼賛会と全く同じ政情だ。</p> <p>現在の大田町政にしても同様である。平成24年に町内に5名の小児ガンが発生しても、その原因をつきとめようとしないう。鳥島射爆撃場に1,520発の劣化ウラン弾を打ち込まれ、劣化ウラン弾を撃ち込んだ犯人である米国の公文書でも鳥島射爆撃場を3段階に分けて危険性を示している。</p> <p>町長は本件公文書を沖縄防衛局に問い合わせても明確な回答はないとしている。</p> <p>そして「町民の内部被ばく」について「町民の死因の分析結果などなど総合的に検討すると人体への被害は無いものとする」と定例会で答弁している。</p> <p>そこで町長等に伺う。</p> <p>①一つは私が質問した米公文書を把握しているか。</p> <p>②二つ目は「人体への被害は無いものとする」と答弁しているが、町内における平成20年以降のガンによる死亡者は何名なのか。</p> <p>③三つ目は、平成25年5月15日に同射爆撃場の土地賃貸契約は誰がしたか及びその前の予約は誰がしたのか。</p>	町長	<p>①新聞報道で内容は承知しております。米公文書については関係機関に確認しましたが、未だ確認が取れない状況です。</p> <p>②平成20年度から平成30年度までのガンによる死亡者数は277名で、死亡者総数に占める割合は26.3%となっております。</p> <p>③予約及び契約とも前町長が行っております。</p>	総務課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
14	5宇江原 総清	2. 銭田川の河川工法について	<p>現在、銭田川の中流において三面コンクリ工法を施行している。本件については、県南部農林土木事務所の所長、班長、仲里土地改良事務所及び本町の建設課長（当時）と十分に詰めて、少なくとも両端は斜めに石積みにかつ、目地（石と石の間の穴）を造り、親水性と同時に取水ができるビオトープ（遊水池）7ヶ所を造る事にし、地域の人達の同意を得た。</p> <p>ところが現在、美栄橋の上流において三面コンクリを施工している。何故、このようになるか。そのいきさつと三面コンクリになった場合の河川の状態及び機能等について説明を求める。</p>	町長	<p>南部農林土木事務所の回答をもとに報告いたします。</p> <p>美栄橋から上流については、住宅地に隣接しているため施設用地に制約があるとのことです。住宅地の安全のため、可能なかぎり住宅地と排水路を離し、必要な通水断面と維持管理用道路を確保するため三面コンクリート工法となったとの報告を受けています。</p>	建設課
15		3. ふれあい公園のコンクリ護岸の改修について	<p>本件は、私の知る限り3回の越波で大被害を受けている。中には死ぬ思いをしたと語る住民もいる。その対応は。</p>	町長	<p>ふれあい公園の護岸は、鳥島漁港整備工事において発生する浚渫土砂の処分護岸として築造され、発生土による埋立地となっております。埋立後、本町がふれあい公園の整備を行い、管理しております。</p> <p>護岸改修については、地域の実情にあった改修ができないかどうか国・県に要望してまいりたいと思っております。</p>	建設課
16		4. 島尻農村公園トイレの改善について	<p>本件は、砂浜のきれいな海浜であり、冬はサーフィン、夏等は海水浴に利用されている。更には「風の帰る森」の子供達のカヌー利活用も予定されている。連動させ、観光事業にも活用してもらいたい。</p>	町長	<p>既存施設は、老朽化が激しく修繕不能な状態となっておりますので、撤去する方向で検討している状況でございます。観光事業での活用については、現状および利用実態等を調査・検証し、補助事業等も模索しながら、検討してまいります。</p>	建設課
17		5. 真泊の避難道路延長について	<p>やるのか、やらないのかを伺う。</p>	町長	<p>進入路は必要と考えておりますが、真泊避難階段周辺が平成31年3月に土砂災害特別警戒区域の指定が行われており、今後の整備については同指定との調整や財政状況等をみながら判断してまいります。</p>	総務課

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
18	7新垣 幸子	1. 保育所運営について	<p>公立保育所の民営化は、大幅な一般財源のコスト削減と公立保育所と私立保育所それぞれの役割を十分発揮し、結果として本町全体の保育のさらなる充実、拡大を図るいわゆる保育の質を上げることや保育環境の向上に寄与することを目的に実施された。</p> <p>さて本町は平成14年の両村合併後に国の方針により、公立保育所を民営化する指導を受けたが、実際は一部を民営化した。ここで以下の7点を伺う。</p> <p>①民営化してどのようにかわったか。(保育内容については、特に保育の質、予算面については一般財源の持ち出し、特に法人保育園への負担金、補助金及び交付金の観点から伺う)</p> <p>②待機児童は何名で、どのように対応しているか。</p> <p>③特別保育として障害児保育、一時保育、延長保育、病児・病後児保育の設置運営はどのようにしているか。</p> <p>④子育て家庭等に対する育児の支援を行う重要な役割を果たしている地域子育て支援センターの現状と課題及び対策についてどのようにしているか。また毎年、子育て支援センターは、実績報告書を提出し補助金を受けていますが、財源の内訳はどうなっているか。</p> <p>⑤家庭的保育は隣接する保育所(園)があるのに、なぜ設置したか。</p> <p>⑥人口減少に伴い、子供の人数が減っていく中で、現状は保育所職員や保育所(園)数が増えていることや園児の定員割れがあることについて、認定こども園を含め本町の今後の保育所運営について、どのような計画策定をしているかを具体的に伺う。</p> <p>⑦令和4年4月の認定こども園の開園にむけて、今年度から幼稚園教諭、保育士の事務協議を行っていくとありましたが、退職された経験豊富な方々(元幼稚園教諭、元保育士)や福祉課及び教育委員会担当者を入れ、今後の本町の保育及び幼児教育の向上について連携をとり具体的に策定してみてもどうか。(今こそ、本町の幼保教育の抜本的な改革の時期だと思うので提案したい)</p>	町長	<p>①保育内容につきましては、各保育所(園)において、保育方針に基づき保育の質、環境改善に取り組んでいることと認識しております。</p> <p>私立保育園の運営費に係る経費は、国と県による交付金によって運営されており、各年齢の保育単価によって給付費が算定されております。負担割合は国が(3歳以上)1/2(3歳未満)55.2/100、県が(3歳以上)1/4(3歳未満)22.4/100で、残りが市町村負担となっております。</p> <p>②4月1日時点での待機児童数は0歳児2名、1歳児8名となっていて、受け入れ可能な保育所(園)では定員は超えていても保育基準内で受け入れを依頼しており、それでも入所できない児童については、ファミリー・サポートセンターや、一時保育の利用を案内しております。</p> <p>③障害児保育は中央保育所で、一時保育は、そらなみ保育園と中央保育所で、延長保育は、そらなみ・儀間・なでしこの3保育園で実施しております。その他の事業について現在は実施しておりません。中央保育所以外の一時保育・延長保育事業については国・県・市町村各1/3の負担となっております。</p> <p>④現状では、令和元年度の利用者数は延べ人数で5,007人となっていて、利用形態としては県外、県内出身の方が多く島内出身者は少ないということでありました。課題としては、地域子育て支援センターが、バス停から遠く利用しづらいこととなっております。</p> <p>地域子育て支援センターの運営に係る費用は、国・県・市町村で各1/3の負担となっております。</p> <p>⑤本町においても待機児童の発生が問題となっており、町内で保育に従事していた方が「町の保育事業に貢献したい」と相談があり所定の手続きを得て認可を受け家庭的保育事業所を開所いたしました。国・県補助金等を利用し運営を行い、中央保育所が連携保育所となり卒所児童の受け入れ及び園庭開放・給食搬入等にて協力を行っております。</p>	福祉課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
18					⑥人口減少に伴い、園児の定員割れについては、年齢の階層によって、定員割れと待機児童が発生しております。今後の保育所（園）の運営につきましては、保育園の統合、5歳児保育、認定こども園の開所を計画しています。 ⑦認定こども園開園に向けて、子ども子育て会議の実務者会議で検討します。	
19	7新垣 幸子	2. 一般家庭等から収集されるゴミ対策について	リサイクルセンターの現状を見て各家庭等から収集されたゴミの分別がなされていないことが、いかに多いか痛切に感じた。ここで以下の4点を伺う。 ①過去2年間のもえるゴミの量と処理費用及び資源ゴミの収集量と売却金額について。 ②町民のリサイクル及びゴミ分別化の意識向上について。 ③「家庭ゴミの分け方・出し方」のリーフレットの修正について。 ④今後の対策をどのように考えているか。	町長	①平成30年度ごみ処理は、燃えるゴミ2,968トン、処理費用は、129,446千円です。資源ゴミ量208トン、資源ごみ売却収入4,063千円、平成31年度は燃えるゴミ2,773トン、処理費用は、177,998千円、資源ゴミ量218トン、資源ごみ売却収入2,705千円でございます。 ②ゴミの分け方、出し方に対する住民意識は、残念ながら低下していると考えます。 ③リーフレットの修正については、久米島町廃棄物減量等推進審議会を開催しゴミの処理手数料や指定ごみ袋の料金改定を含め、リーフレットの見直しについても、令和2年度審議会へ諮問いたします。 ④今後とも、ゴミのない島づくりのためには住民の意識改革が最も必要ですのでゴミの分け方、出し方に対する啓発やリサイクルシステムの構築を図ってまいります。	環境保全課
20		3. 新型コロナウイルス感染症関連について	①第二波、第三波の予想がされる中、島内医療機関でPCR検査、抗原検査、抗体検査を受けることが可能かどうか。またレムデジビル、アビガン、アクテムラ、イベルメクチン等の治療薬が常備されているか。 ②新型コロナウイルス感染拡大を受け、島内食品関連事業者において、売上の低迷や過剰在庫等の影響が出ている。島産品について2点提案したい。 1) 島内の店舗で賞味期限のあるお菓子やレトルト食品等を特別価格（島内価格）で販売する島産品キャンペーンを実施してはどうか。 2) 島産品をネットで紹介し、特別価格（島内価格）で販売してはどうか。	町長	①島内医療機関でのPCR検査につきましては、検体を採取し本島の検査機関に発送しております。抗原検査、抗体検査につきましては、現時点では、検査実施の予定はないとのことです。 重症化した新型コロナウイルス肺炎の治療は指定医療機関で行われるため、島内医療機関では常備されておられません。 ②自粛により休業を余儀なくされた事業所・店舗において、在庫管理は大きな課題、負担と考えられ、商工会と協力・連携しながら支援対策を検討しております。 一部事業所・店舗においては、SNSを活用した独自の販売活動にご尽力されていますが、そのような取り組みに苦慮されている事業所・店舗も多く、支援事業の実施に向け、取り組んでまいります。	①福祉課 ②商工観光課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
21	7新垣 幸子	4. 中学生の通学バス支援について	<p>中学校の統廃合等により区域内就学において通学バス支援があるが3点伺う。</p> <p>①通学バス運行範囲について。</p> <p>②区域外就学の生徒の人数について。(昨年度と今年度、中学校別)</p> <p>③区域外就学の生徒への通学バス支援は対象外であるが、同じ行政区内であり、義務教育の根幹である「教育機会の均等」という視点と保護者からの強い要望があるが支援の考えはないか。</p>	教育長	<p>中学校の通学バス支援につきまして、中学校の統廃合に伴い比屋定小学校区と久米島小学校区の生徒に対し、指定する中学校に通学する場合に支援を行うものとなっております。その方針から考えますと、</p> <p>① 運行範囲につきましては、西中学校は町営バスを利用し下阿嘉から西中前まで、球美中学校は委託バスを利用し嘉手苅から球美中前までとなります。</p> <p>② 区域外就学の生徒の人数は、西中は令和元年度2名、令和2年度4名、球美中は令和元年度5名、令和2年度6名となっております。</p> <p>③ 通学バス支援につきましては、統廃合に伴い指定する学校への通学に支障をきたす校区の生徒に対して行うものであることから、個人的な理由で区域外へ就学する生徒につきましては、支援の対象にはならないと考えます。</p> <p>また、校区につきましては、学校教育法施行令に基づき指定され、教育行政を執行するうえで様々な施策の前提条件となっており、統廃合に伴い指定する中学校への通学に支障をきたす校区の生徒に対してバス通学支援を行うことは、「教育機会の均等」を図るため方策の一つだと考えています。</p>	教育課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
22	8棚原 哲也	1. 新型コロナウイルス感染症について	患者発生時の公立久米島病院及び町の対応方針について伺う。	町長	<p>新型コロナウイルス感染症対策本部、感染症対策班では久米島町における患者対応フローを作成しました。島内医療機関の両院長の了解も得て、町民の皆様がよりスムーズに受診ができるような久米島町独自の患者対応フローとなっております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症を疑う場合は、まず電話にて公立久米島病院に相談していただき、指示のもと受診し、医師の判断によりPCR検査を受けます。結果が出るまで4～5日かかりますので、その間は医師の判断により入院、若しくは自宅待機となります。後に陽性となった場合は、患者の容態により公立久米島病院に入院、若しくは、重症化あるいは医師の判断により沖縄本島内の感染症指定医療機関へ搬送となります。現在の公立久米島病院の体制としては、入院病床5床及び人工呼吸器も3台確保されており、比較的軽症の場合は対応できる状態です。</p>	福祉課
23		2. 海岸の漂着ゴミの除去対策について	漂着ゴミについては本町のみならず、県内全域及び全国の海岸線の景観や環境破壊の元凶である。町としての今後の処理及び取り組み方針を伺う。	町長	<p>海岸漂着ごみ対策は、沖縄県補助金を活用し海岸漂着物に係る環境教育・普及啓発活動を活発に実施している民間団体、地域住民等の協力を得て発生抑制のための、関係者間の連携・交流等、海岸漂着物等の発生抑制対策に関する事業を実施いたします。また、特に今年度は海岸漂着ごみ回収・処理に係る調査研究の事業も強化いたします。引き続き久米島周辺海岸管理者の沖縄県とも連携して、取り組んでまいります。</p>	環境保全課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
24	9喜久里 猛	1. コロナ対策について	<p>新型コロナについては町長のリーダーシップのもと感染者0人（5月15日現在）を達成したことは一町民として敬意を表し感謝いたします。しかしながら町の今後については、いくつかの不安材料がありますのでその件について質問します。</p> <p>①休業を継続している業者はないか、倒産した業者はないか。 ②給付金、融資等の申請はスムーズに行われているか。 ③学業の遅れが出ていると思うがどう取り戻して行くか。 ④オンライン利用、交代勤務、出張控等で行政の遅れはでたか。逆にこの事を参考にして行政運営の有り方が変わって行かないか。 ⑤専門家の意見では、第2、第3波が必ず来ると言うがその対策はしているか。</p>	町長 教育長	<p>①島内事業所・店舗の状況について、商工会および観光協会へも協力いただき確認したところ、国・県の緊急事態宣言および自粛・休業要請解除後も宿泊業や飲食業、マリン事業、土産店舗等の観光産業をはじめ、休業を継続している事業所・店舗がありました。</p> <p>倒産については、5月29日時点で確認できておりません。</p> <p>②給付、融資等の申請・相談については、商工会や金融機関と連携を取りながら対応に努めており、スムーズに行われていると考えております。</p> <p>しかしながら、コロナ感染症に対応した給付、融資等は、制度が中・長期となる内容もありますので、申請に支障が生じないよう継続的に注視し、支援してまいります。</p> <p>③4月7日から5月15日までの期間、町内の小中学校は臨時休校となりましたが、子ども達にとって一番心配されることは、やはり学習の遅れが出ることで考えています。</p> <p>遅れた学習をしっかりと補うためには、やはり授業で補充することが一番効果的だと考え、夏休み期間を10日間に短縮し授業日ができるだけ確保することとしました。また、運動会、学習発表会等の学校行事を見直し、取り組みや時間の縮減を行うことで主要教科の時数を確保し、小学校、中学校ともに、年度内で主要教科の指導内容を終わられるような教育課程を再編成する方針を「校長・教頭連絡協議会」で確認しております。</p> <p>④交代制勤務や出張の自粛等で負担をかけた部分があったと思いますが、職員の協力により業務の遅れは生じていません。今後はテレワークをはじめとする多様な勤務体制を検討する必要があると考えています。</p> <p>⑤第2波、3波についても今回同様の対策を行うことが重要だと考えており、コロナ流行の波が落ち着いている現在は、今後予想される流行への対策として「新しい生活様式」を指針として取り入れ、行動変容を促すことで被害を最小</p>	①、②商工 観光課 ③教育課 ④総務課 ⑤福祉課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
24	9喜久里 猛	2. 遺骨収集について	下地原洞窟の人骨処理に関わる看板が出ているが、町内全部収集を行うのか。又期限が書かれてないがいつ実施するのか。	教育長	におさえることができると考えております。 ご指摘の看板につきましては、指定文化財の清掃・環境整備の一環として行う考えで、下地原洞穴のみの遺骨整理を予定しているものです。 また看板は、今年の1月に設置し9月の旧盆まで掲示することとしており、それまでに管理者からの連絡がなければ、旧盆後に祈願供養を済ませた後、お骨・厨子ガメ等、整理させて頂く予定しております。	博物館
26		3. 牧草畑の品種について	久米島での農業はお互いが畜産農家でありキビ農家であるが牧草の種子がキビ畑に飛び、その土地で伸び、農家はその処理に苦労している。今の状態が続くと農家間のトラブルが発生しかねない。行政指導で品種の選定ができないか。	町長	畜産の飼料作物として久米島町では、4品種が主に植え付けされております。そのうち3品種は、種子が近隣の農地へ飛散し、困っている農家もいると思います。 今後、JAや久米島町和牛改良組合とも品種の選定等が出来るか協議を行います。	産業振興課
27	10真栄平 建正	1. 久米島堆肥センターについて	①堆肥センター建設の目的。 ②堆肥センター収支計画と実績。 ③堆肥センター管理運営の経緯と今後の計画。	町長	①地域の有機性資源の有効活用に努め、環境保全及び土づくりによる地力の増進を図り、もって環境保全型農業の振興を図る目的となっております。 ②計画では、収入が11,439千円。支出が13,512千円。令和元年実績で収入が8,622千円。支出が17,958千円となっております。 ③平成21年度から平成24年度まで直営で運営。平成25年度から平成30年度までは民間委託。令和元年度から再度直営で運営しております。今後につきましては、機械等の更新も行いながら民間への再委託も必要と考えます。	産業振興課

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
28	10 真栄平 建正	2. コロナ対策について	<p>①対策マニュアルの策定状況、概要について。 ②町単独の助成制度概要、予算額について。 ③国県からの交付金額と用途について。 ④助成金申請手続きの支援と申請漏れに対する対策について。</p>	町長	<p>①新型コロナウイルス感染症につきましては、指定感染症として第2類感染症に位置付けられており、沖縄県知事の措置に従うこととなっております。ご質問にあります町独自の危機管理マニュアルの中において、感染症に特化した対策としては平成26年に策定しています「久米島町新型インフルエンザ等対策行動計画」がございます。実施体制に始まり、情報提供・共有、予防・まん延防止、予防接種、町民生活の確保まで各局面毎の行動が基本方針として定められております。</p> <p>町独自の行動の一つに、新型コロナウイルス感染症対策本部、感染症対策班において、PCR検査を受けた疑似症患者（主に軽症者で医師が自宅待機を指示した患者に限る。）を自宅まで搬送するというを行います。疑似症患者の搬送は、沖縄県の措置の範疇ではなく、町独自の行動となっております。</p> <p>②5月の臨時議会で計上した町単独の助成事業はマスク配布事業として14,650千円、出産助成渡航費用を15万円から25万円へ拡充した分として8,500千円、保育料免除6カ月分として12,827千円、給食費6カ月分免除として11,363千円、地域産業応援給付事業として61,400千円、総額で約1億1千万円の予算額となっております。</p> <p>③国は第1次補正予算で「新型コロナウイルス感染症対策対応地方創生臨時交付金」を創設しており、久米島町への配分額は約8千万円となっております。町としては同交付金を先に述べました町単独事業、約1億1千万円の財源として充当できないか国へ要望しております。要望が認められた場合、一般財源は町独自の新たな支援対策事業に充当することを考えております。</p> <p>④国や県、その他にも数多くの支援策が打ち出される中、不慣れな申請手続きに戸惑っている町民や事業者もおります。町としては、申請漏れ対策の一つとして各種生活支援の情報を久米島町版としてわかりやすく整理した上で町広報紙、ホームページでの情報発信、FM久米島や県内メディアにプレスリリースを行っています。</p>	<p>①福祉課、総務課 ②、③、④ 企画財政課</p>

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
28					また、給付金受け取り喚起のための屋外横断幕を掲示しての周知も行っております。さらに支援制度が多岐にわたるため、申請方法などで混乱している状況がありますので、対面での申請手続き補助も行っていく予定です。	
29	11東江 浩明	1. 堆肥センター品質向上対策の現状について	①久米島土壌菌の培養状況は。 ②牛フン回収状況は。	町長	4月20日に第1回目の菌の培養を行いました。かなりの土壌菌が培養されておりましたので、現在2回目の培養に向けて取り組んでおります。 牛糞の回収につきましては、堆肥センターでストックできない牛糞は、本人のサトウキビ畑や草地にすきこむ圃場へ搬入しております。	産業振興課
30		2. サツマイモ基腐病対策について	①現状調査実態報告。 ②土壌改善対処研究方法状況は。	町長	①サツマイモ基腐病の対策マニュアルに沿って栽培されている農家の方々は、被害が減少傾向にありますが、基腐病の原因菌である糸状菌の防除対策は開発されておられません。 ②町内に土壌菌の専門的な方がおりますので、その方のご協力で甘しょ農家の圃場で4つのパターンの実証実験を行う準備を進めております。	産業振興課
31		3. 新型コロナウイルス影響による今後の観光関連等々対策について	①観光関連事業内容及び展開は。 ②DMO設立状況報告と観光協会との取組は。	町長	①経済回復に向けた観光関連事業については、観光協会、商工会と連携・協力し、事業の立案・企画、実施に向け取り組んでおります。 当初予算での町、各団体の事業とあわせ、回復に向けた経済対策事業の実施に取り組んでまいります。 ②久米島版DMOについては、DMOとなる一般社団法人の設立に取り組んでおり、6月上旬には法人登記を終え設立できる見込みです。 久米島版DMOは、本町経済5団体で構成する組織となっており、観光協会をはじめ経済5団体と連携・協力した「チーム久米島」での地域経営を実現・推進してまいります。	商工観光課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
32	4赤嶺 秀徳	1. 赤土流出防止について	<p>大雨の度に白瀬川と儀間川から大量の赤土が流出して儀間・嘉手苺アーラ浜までのイノーを汚染している。</p> <p>白瀬川流域から流出した赤土は、兼城港の沖防波堤で堰止められ鳥島前への流出はほとんど見られない。ところが堰止められた赤土は嘉手苺から儀間方向へと流出して儀間川流域から流出した赤土と合流する形で大口（ウフグチ）から沖合へと流出している。赤土はさらに兼城から嘉手苺、儀間、アーラまでの広範囲にわたって汚染している状況である。3点について伺う。</p> <p>①赤土流出防止対策は取られているか。</p> <p>②対策が取られているのであれば、その効果は出ているか。</p> <p>③農家への指導等は行われているか。</p>	町長	<p>①久米島赤土流出防止対策協議会の対策として、令和元年度は緑肥播種が0.1ha。グリーンベルト設置（ベチパー植栽）が3,721mの15.7ha。防止版の設置が777mの4.6haの対策を行いました。</p> <p>②沖縄県赤土等流出防止対策の中間報告では、年間の流出量が減少していると報告されております。</p> <p>③雨天時に農地パトロールを行い、赤土流出している農地の所有者の方へ、赤土流出防止の対策の協力や、町広報誌での流出防止協力依頼、また町協議会の事業で対策が出来るので、申請するよう指導等を行っております。</p>	産業振興課
33		2. 県道89号儀間嘉手苺間の改良について	<p>県道89号儀間嘉手苺間の改修については、平成29年9月議会でも質問したが新たに質問する。</p> <p>①この区間の町道への格下げの進捗状況について伺う。</p> <p>②この区間は、側溝まで歩道に含まれているが側溝の蓋が劣化により不安定箇所が多々ある。改修する予定はないか伺う。</p>	町長	<p>①町への移管作業については、現在進展しておりません。県から町へ移管する場合、施設の不具合が確認される個所については、修復等の必要性もあることから諸課題をクリアしたのちに移管できるよう要望しているところでございます。</p> <p>②現状不具合がある施設・構造物については、沖縄県へ連絡し修復を依頼します。</p>	建設課
34		3. 廃船について	<p>町内の各漁港内には多数の廃船が放置され野晒しになって美観を損ねている。町で計画して処理することは出来ないか。又、所有者に対して処分する様に指導することは出来ないか伺う。</p>	町長	<p>町管理漁港に47隻、県管理漁港に24隻の合計71隻が放置されております。現在、町・漁協・沖縄県南部農林土木事務所と字北原にある鉦山跡地に仮置きができないか調整をしております。</p> <p>個人の財産である放置船を処理できる補助事業が現在なく、計画的に処理することが出来ない状況です。</p> <p>所有者がわかる放置船に対しては、処分するよう指導を行います。</p>	産業振興課
35		4. 観光資源について	<p>久米島には自然を活用した観光名所が数ヶ所あるが、未開発の資源も多々あると思っている。そこで自然を活用した観光資源開発も必要と思うが町の見解を問う。</p>	町長	<p>観光資源の活用・開発については、四季の植物の状況等を調査・確認してまいりましたが、活用・開発の検討に至っておりません。</p> <p>具体的な活用・開発について、関係課とも連携しながら検討し、取り組んでまいります。</p>	商工観光課

令和2年6月定例会 一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
36	4赤嶺 秀徳	5. 民事事件の進捗状況について	民事事件のその後の進捗状況について伺う。	町長	<p>民事事件については、平成31年2月12日に認諾で結審しております。3,173,351円の弁済があり、損害賠償残額は41,041,847円となっております。</p> <p>今後は、元職員の出所後に給与等の差押えを行い損害金を回収する予定であります。</p>	総務課